

2019 年度 小規模多機能ホームえごたの家 事業報告

小規模多機能ホームえごたの家

管理者 手代木 隆久

【事業目的】

- ① 利用者が住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、24 時間・365 日の「その人らしい暮らし」を実現するために地域のみならず継続的な支援を考え実践していきます。
→地域住民との交流や地域活動への参加の機会が少なかった。「その人らしい暮らし」を実現するための支援を継続していく。
- ② 自立支援、自己決定、日常生活（在宅生活）の継続の三原則を常に踏まえながら、信頼のおける安心拠点として将来の不安払拭を図る事を目指します。
→信頼のおける安心拠点として将来の不安払拭を図ることを継続してめざします。
- ③ 生活クラブ安心ケアシステムの「生活クラブ 10 の基本ケア」に沿った「日常生活リハビリケア」が実践出来るように学び実践に努めます。
→「生活クラブ 10 の基本ケア」研修を合同で開催し参加した。継続して参加の機会を設け実践に努めます。

【事業活動報告】

- ① 新規開設に伴い、地域の方々に知って頂き気軽に足を運びやすい施設作りをめざします。地域包括支援センター、病院、居宅支援事業所、近隣住民などへアプローチし、安定した登録者確保のための営業活動を行っていきます。
→安心ケアセンター・悠遊えごたは地域の方々にまだ知って頂けていない。気軽に足を運びやすい施設づくり及び営業活動が継続して必要である。
- ② 本人及びご家族のニーズを丁寧に聞き取り、その人が望む自分らしい自立した生活が送れるよう 3 つのサービスを活かしたケアプランを作成します。また、そのケアプランに基づき、一人ひとりに合わせた小規模多機能型独自の介護計画を実践し、適切なサービスを提供します。また、ケア内容を共有し統一化します。定期的にカンファレンスを行いながら職員間での気づきや成功例及び失敗例を適切に検証及び評価し、ケアの改善につながるよう取り組みます。
→継続してニーズを収集し自分らしい自立した生活が送れるようなケアプランを作成します。常にケアの改善に努めます。
- ③生活クラブ安心ケアシステム（生活クラブ 10 の基本ケア）を基軸とした生活リハビリケア体制を構築するためのチーム編成を組織し、各チームの生活クラブ 10 の基本ケアに基づいた啓蒙活動を行うことで、スタッフの介護従事者としての専門性を高め、ケアの質の向上を図ります。
→チーム編成を組織することができなかった。継続して専門性を高め、ケアの質の向上に努める必要がある。
- ④職員が働きやすい環境づくりに努めます。
→働きやすい環境づくりを継続して努めます。
- ⑤近隣地域でのイベント、行政、関係各所の連絡会及び講演会などに積極的に参加して行きます。
→中野区介護サービス事業者連絡会入会。中野区介護の日、パンフレット設置。中野区地域密着型サービス PR 活動、パネル展参加（区役所ロビー）。小規模多機能型居宅介護部会出席。今後も積

極的に参加して行きます。

⑥災害対応について、定期的な訓練など実施し、災害時の対応に整えます。

→2019.11.22 夜間想定防災訓練実施（グループホームえごた合同）2020.3.19 地震火災総合訓練実施。

【事業実績】

予算：登録者数（名）/介護報酬（万円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録数	7	10	13	15	17	18	18	18	17	17	18	18
介護報酬	115	168	222	250	286	297	297	297	286	286	315	315

→2020年3月現在 登録者数2名 介護報酬約29万円/月。 平均介護度1。通い・訪問・泊りサービス利用

2019.4月開設。6月からご利用者利用開始。職員体制が厳しくまずは通いの利用者から受け入れを開始する。9月から全曜日の受け入れを開始。訪問サービス・泊りサービスも開始となる。泊りサービスは利用日の日程調整が必要である。

【会議開催報告】

① 常勤会議 常勤職員対象（必要時随時招集）

運営に関わる重要事項の案件を検討・各チーム活動について意見徴収など

→必要時、短時間であるが行った。運営方法・業務内容の検討等。

②職員会議 全職員対象（毎月実施）

利用者登録状況、登録見込、問合せ件数、実績報告、事故報告書・ヒヤリハットを共有する。

各チーム活動・月間行事・社内研修等の日程・準備状況確認、職員会議の議題を検討する。

→概ね毎月、実施した。連絡案内事項・実績報告・業務内容・社内研修・検討課題等。

③ケース会議 全職員対象（毎月実施）

ケアマネジャーを中心として情報を共有しケアの統一を図る。アセスメント、評価を行う。

→必要時に行った。情報共有・アセスメント・評価・ケアの統一等。

④運営推進会議 地域関係者対象

→2カ月に1回開催。2019.5月、7月、9月、11月、2020.1月、3月（新型コロナウイルス肺炎感染拡大のため中止） 民生委員、地域包括支援センター職員出席。

⑤家族会 利用者家族対象（年3回実施）

→運営推進会議に出席の案内を行う。出席者無し。

⑥管理者会議 管理者対象（毎月）

→毎月、開催。管理者出席。

【委員会開催報告】

① チーム編成組織を検討

チーム排泄T・食事T・入浴T・レクT・看護T・送迎T・教育T等

→検討できなかった。今後の課題である。

②管理部門組織を検討

備品関係・設備関係・営業活動・事務経理・請求業務等
→検討を行った。いくつかの担当を決定した。

【研修実施報告】

① 月別の計画（法人全体共通研修に合わせる）

4月 倫理及び法令順守	10月 感染症予防
5月 接遇・マナー	11月 非常災害時の対応
6月 緊急時対応	12月 事故発生予防・再発防止等、安全対策
7月 認知症	1月 認知症ケア
8月 食中毒対策	2月 虐待防止・身体拘束排除
9月 疾病	3月 プライバシー保護

→職員会議に併せて概ね行うことができた。

②東京都福祉人材センターの研修活用

認知症介護研修・介護職スキルアップ研修に参加予定

→認知症介護実践リーダー研修受講、中野区主催介護職研修受講

【年間行事実施報告】

4月 お花見	10月 外出
5月 外出	11月 紅葉狩り
6月 外食	12月 忘年会
7月 七夕	1月 初詣
8月 夏祭り	2月 節分
9月 秋祭り	3月 ひな祭り

ボランティア等による行事も計画・検討

→概ね行うことができた。外出の機会を設けることができた。

ボランティアの方の活動は行えなかった。

以上